



[公益財団法人 アイヌ文化振興・研究推進機構とは…]

平成9年5月、アイヌ文化の振興等を行い、アイヌの人たちの民族としての誇りが尊重される社会の実現と、我が国の文化の多様な発展を図ることを目的とする「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」が制定され、同年7月から施行されました。

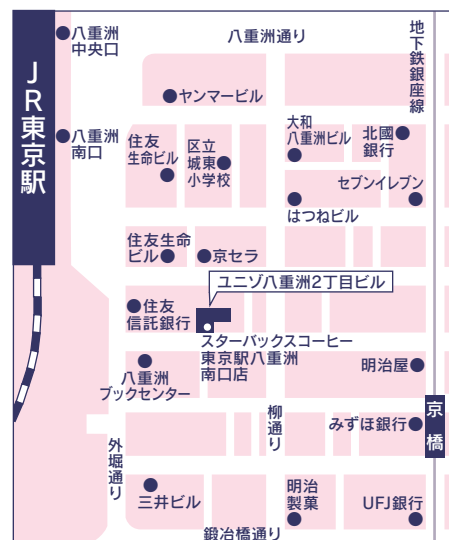
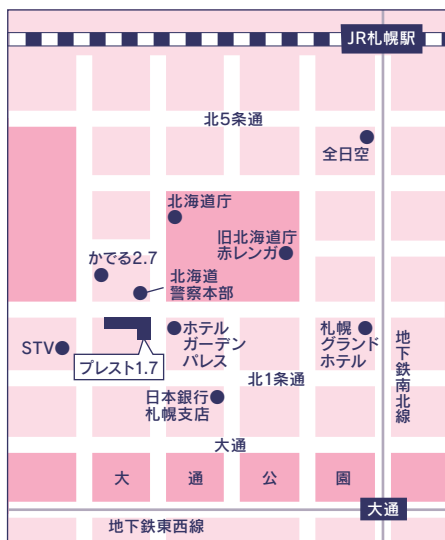
当公益財団は、平成9年7月、北海道札幌市内に事務所を、同年9月には東京都内にアイヌ文化交流センターを開設し、この法律に基づき、アイヌ文化の振興、アイヌの伝統やアイヌ文化に関する知識の普及・啓発などの事業を実施しています。

● 公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7(5階)
The Foundation for Research and Promotion of Ainu Culture(FRPAC)
Presto 1.7 (5F), Kita 1, Nishi 7, Chuo-ku, Sapporo 060-0001 Japan
TEL.011- 271-4171 FAX.011-271-4181
ホームページ <http://www.frpac.or.jp/>
e-mail:ainu@frpac.or.jp

● アイヌ文化交流センター

〒104-0028 東京都中央区八重洲2丁目4号13番
ユニゾ八重洲2丁目ビル(3階)(旧アーバンスクエア八重洲)
Ainu Culture Center, Tokyo
UNIZO Yaesu 2-chome Building(Formerly Urban square Yaesu) (3F), 4-13,Yaesu 2-chome,
Chuo-ku, Tokyo 104-0028 Japan
TEL.03-3245-9831 FAX.03-3510-2155
e-mail:acc-tokyo@frpac.or.jp



平成27年度

10月→12月 (vol.3)

アイヌ語 ラジオ講座

石狩方言



STVラジオ

本放送 毎週日曜日 7:00 ~ 7:15 再放送 毎週土曜日 23:00 ~ 23:15

STVラジオのホームページでこれまでの放送を聴くことができます。
<http://www.stv.ne.jp/radio/ainugo/>

講師 中井 貴規

公益財団法人 アイヌ文化振興・研究推進機構

vol.3

はじめに

アイヌ語はアイヌの人たちの独自の言語で、身近に触れているものとして地名があります。アイヌ語の地名は北海道をはじめ、サハリンや千島列島、それに東北地方にも残されています。地名の他にも「エトピリカ」や「ラッコ」、「トナカイ」などアイヌ語と意識されずに使われている言葉があります。

また、アイヌの人たちはユカラをはじめとする多くの優れた口承文芸を伝えてきました。語り継がれてきた物語の中には、自然の中で生きていく知恵や自然との折り合いの付け方などが盛り込まれていることも多く、話を聞くことで、さまざまなことを学べるようになっていきます。

現在では、アイヌ語が日常会話の言葉として使われることはほとんどありませんが、祖先から伝えられた言葉を多くの人たちが話せるようになるよう、いろいろな活動が行われています。

この「アイヌ語ラジオ講座」は、初心者向けのやさしいアイヌ語講座をラジオで放送し、多くの人たちにアイヌ語に触れ、学習する機会を提供するため平成10年から開設しているものです。

平成27年度は4月からの1年間、旭川市出身の中井貴規さんをお迎えし、アイヌ語講座を開講してまいります。

どうぞ、アイヌ語に触れてみて下さい。

平成27年4月

「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.3 目次 テキストは3か月ごとに発行しています。

●講師等の紹介	2P
●講座のスケジュール	3P
●テキスト27～39	4～29P
●収録テープ等の貸出について	30P
●アンケート	31～32P
●会員募集のお知らせ	33P

アイヌ語 ラジオ講座

石狩方言



講師 中井 貴規

公益財団法人 アイヌ文化振興・研究推進機構

vol.3

講師のプロフィール



なかい たかのり
中井 貴規

旭川市に生まれる。現在は白老町在住。アイヌ語指導者育成事業第8期修了生。
2011年から2014年まで、北海道大学アイヌ・先住民研究センターにて技術補佐員として勤務。
現在は、伝承者育成事業第3期生として、白老町にあるアイヌ民族博物館での研修を中心に、アイヌ文化について学んでいる。

支援研究者の紹介

おおた みつる
太田 満

北海道赤平市生まれ。旭川アイヌ語教室等でアイヌ語教育に努める。現在、(公財)アイヌ文化振興・研究推進機構が実施している指導者育成事業、語り部育成事業(旭川・浦河)の講師として、アイヌ語の指導に当たっている。

【このテキストのアイヌ語と表記の仕方について】

現在のところアイヌ語には共通語というものではなく、それぞれの地域でそれぞれの方言が学ばれています。そのため、このテキストでは担当講師の方言(石狩方言)をベースにしています。

アイヌ語ラジオ講座のスケジュール表

月	日	Kampinuye	テーマ	ページ
10月	4日	27	二つの私達が 一人称接辞一人称複数主格	4
	11日	28	しまししょうー勧誘の表現	6
	18日	29	接続助詞 wa, hine, ayne, kane, kor, no	8
	25日	30	感嘆文と形式名詞 ruwe, hawe, siri, humi	10
11月	1日	31	お前たちとあなた 一人称接辞二人称複数と人称接辞二人称敬称	12
	8日	32	くださいー命令文	14
	15日	33	してはいけないー禁止の表現	16
	22日	34	場所名詞と位置名詞	18
12月	29日	35	～できる、～できないー可能・不可能の表現	20
	6日	36	するつもり、だろー意志・推測の表現	22
	13日	37	採るー植物採集の表現	24
	20日	38	ラタシケッ ^o rataskepの作り方	26
	27日	39	クコットット ウチャックマ ku=kor totto ucaskuma ー母ちゃんの教え	28

二つの私達が一人称接辞一人称複数主格



例文

1. A: Tane simpaya ci=nukar kusu maciya ekota paye=as.
タネシンバヤチヌカクス マチヤエコタパイェアシ。
 今私達は芝居を見に町に行くんだ。
- B: Eani ka e=oman rusuy?
エアニカエオマンルスイ?
 あんたも行きたい?
- C: Ku=oman rusuy korka ……
クオマンルスイコロカ……
 行きたいけど……
- A: Uturano paye=an rok!
ウトラノパイェアンローク!
 みんなで行こうよ!
- C: Ku=kor menoko turano ihok=as kusu Sapporo ene paye=as.
クコロメノコトラノ イホカシクス サッポロエネパイェアシ。
 彼女と買物に札幌へ行くんだ。
-
2. A: Numan pirka simpaya an=nukar wa sonno kiroroan=an na.
ヌマンピリカシンバヤアンヌカワ ソンノキロロアナンナー。
 昨日良い芝居見てとても楽しかったね。
- B: Yakun nisatta suy paye=an?
ヤクン ニサッタスイパイェアン?
 じゃあ明日また行く?
- A: E! C ka suy an=niski wa paye=an rok!
エー! Cカスイアンニシキワ パイェアンロック!
 うん。Cもまた誘って行こうよ!
- B: Pirka!
ピリカ!
 良いねえ!



単語

アイヌ語	品詞	日本語
an=	人稱接辞	(話し相手を含める) 私達が
=an	人稱接辞	(話し相手を含める) 私達が
=as	人稱接辞	(話し相手を含めない) 私達が
ci=	人稱接辞	(話し相手を含めない) 私達が

アイヌ語	品詞	日本語
ihók	イホク	自動詞 買物をする
kiróroan	キロロアン	自動詞 楽しい
níski	ニシキ	他動詞 ~を誘う
rók	ロク	終助詞 ~(し) ましょうよ
símpaya	シンパヤ	名詞 芝居
súy	スイ	副詞 また
turáno	トラノ	後置副詞 ~と一緒に
utúrano	ウトラノ	副詞 みな一緒に
yakun	ヤクン	接続助詞 それなら



今日の学習

1. 二つの「私達」について

アイヌ語には二種類の「私達」があります。つまり、①「話し相手を含めない私達」と②「話し相手を含める私達」です。これらの形は人稱接辞や人稱代名詞の形ではっきり区別され、①が一人称複数除外形、②が一人称複数包括形と呼ばれます。

2. 一人称複数の人稱接辞の特徴

先に説明した「話し相手を含めない私達」、つまり一人称複数除外形の人稱接辞と「話し相手を含める私達」、つまり一人称複数包括形の人稱接辞は「私達が」という主格の場合、自動詞に付くか他動詞に付くかによってそれぞれ違った形をとります。つまり例文に見られるように、

①一人称複数除外形

自動詞	ihok=as	「(相手を含めない) 私達が買物する」
	paye=as	「(相手を含めない) 私達が行く」
他動詞	ci=nukar	「(相手を含めない) 私達が~を見る」

②一人称複数包括形

自動詞	kiroroan=an	「(相手を含める) 私達が楽しい」
	paye=an	「(相手を含める) 私達が行く」
他動詞	an=niski	「(相手を含める) 私達が~を誘う」
	an=nukar	「(相手を含める) 私達が~を見る」

と、自動詞の場合には①なら アシ =as、②なら アン =an が語尾に付きますし、他動詞の場合には①なら チ ci=、②なら アン an= が語頭に付きます。特に自動詞の場合には人稱接辞が語尾に付くので気を付けねばなりません。以上の事からお分かりのように正しく人稱接辞を使うためにはその動詞が自動詞なのか他動詞なのかをきちんと覚えねばなりません。

尚、一人称複数形の人稱接辞が特に自動詞と使われる場合、単数形と複数形があれば必ずその複数形と使われます。

3. 人稱接辞とアクセント

これまで名詞や動詞に人稱接辞 ku= や e= が付いた場合、例えば teké 「彼の手」→ ku=téke 「私の手」、iki 「彼がする」→ e=iki 「お前がする」という具合に、アクセントが一前の音節に移動する事を学びました。今回の例文でも nukár に対してci=núkar と ci= の場合にはアクセントが移動しています。ところが an= の場合には an=nukár とアクセントは移動しません。

 例文

1. A: Anmip ku=hok kusu maciya ekota
アンミックホックス マチャエコタ
 今日、服を買いに、街へ
 ku=oman wa. E=montapi ya?
クオマヌワ。エモンタピヤ?
 行くよ。忙しいかい?
 B: E. Korka kuani ka anmip ku=hok rusuy...
エ。コロカ クアニカ アンミックホクルスイ...
 うん。でも、私も服を買いたい...
 A: Yakun uturano paye=an rok!
ヤクン ウトラノパイェアンロク!
 じゃあ、一緒に行こうよ!
 B: Um....., e.
ウム、エ。
 うーん、ええ。
2. A: Tan hure anmip sonno pirka!
タンフレアンミヤ ソンノピリカ!
 この赤い服、本当に素敵!
 B: Kuani anmip ku=hok na.
クアニ アンミックホクナ。
 私は、服を買ったよ。
 ラーメン an=e rok.
ラーメン アネ ロク。
 ラーメンを食べようよ。
 A: Somo! Naa poronno anmip ku=hok rusuy.
ソモ! ナアポロンノアンミックホクルスイ。
 いや! まだたくさん、服を買いたい。

 単語

アイヌ語		品詞	日本語
anmip	アンミヤ	名詞	着物、服
hók	ホク	他動詞	～を買う
na (naá)	ナア	副詞	まだ、もつと ※感情がこもったとき、強調するときに、 naá ナアアという発音になる。



今日の学習

1. 勧誘の表現

例文1に「Uturano paye=an rok! 一緒に行こうよ!」、例文2に「ラーメン an=e rok! ラーメンを食べに行こうよ!」という表現があります。こうした表現は、kampinuye 27でも出てきましたが、詳しく学びましょう。

「～しましろう」と、誰かに自分あるいは自分達と同じ行動を誘う、勧誘表現のポイントは次の2点です。

・一人称複数包括形の人称接辞を動詞につけます。

Uturano paye=an rok!のように、使う動詞が自動詞 → **自動詞**=an

ラーメン an=e rok!のように、使う動詞が他動詞 → an=**他動詞**

・文末に、ro もしくは rokをつけます。石狩方言全体では、ro、rokを使います。私の家系では、rokを用いますので、この講座でも rok を用います。

今年度のアイヌ語ラジオ講座において、番組の最後に私が言っている挨拶「またお会いしましろう。suy unukar=an rok.」という言葉にも、この表現が使われていますね。

2. 色の表現

既出のものを含め、アイヌ語で色を表す言葉を以下にまとめます。

アイヌ語	品詞	日本語
húre	フレ	自動詞 赤い、赤くなる
kúnne	クンネ	自動詞 黒い、黒くなる
retár	レタラ	自動詞 白い、白くなる
siwnin	シウニン	自動詞 青・緑・黄色である、 青・緑・黄色になる

アイヌ語で、色を表す言葉は以上の4つです。一見して、特徴的なのは、siwnin でしょう。青・緑・黄色と幅広い範囲を示しています。また、hureは赤みがかかった色全般を指します。

なお、「色」という言葉について、他方言では、ipor、iroなどが確認できましたが、石狩方言では確認できませんでした。

3. 接続助詞の独立用法

今回の例文で、korka、yakunという言葉が表れています。次の課で詳しく学びますが、これらの言葉は、様々な意味を表して前の文と後ろの文をつなぎ、基本的に動詞の後に用いられる接続助詞です。

接続助詞は、基本的に文頭に用いられることはないのですが、例文1では、korka、yakunが用いられています。こういった用法を独立用法といいます。文頭に用いることができる接続助詞を以下にまとめます。

アイヌ語	文中での主要な意味	独立用法のときの意味
ayke	1. (ある状態・動作があつて、次の状態・動作があることを示し) ~ (する) と 2. (ある状態・動作があつて、それが予想に反する展開を示すことを示し) ~ (した) が	1. すると～ 2. ところが～
ayne	(ある一連の行為が完了したことを示し、次の展開を示す分を導き) ~ (し) たあげく	あげくに～、とうとう～
korka	(逆接の意味で文をつなぎ) ~ (する、である) けれど	けれども～
yakka	(逆接の意味で文をつなぎ) ~ (し) ても、~ (し) てさえ	それでも～、けれども～
yakne	(良い、悪いなど評価を伴う仮定を示し) ～なら	それなら～
yakun	(一般的な仮定を示し) ~なら	それなら～



例文

1. Ku=sinot hine ku=hosipi hine ku=ipe.
クシノッヒネ クホシビヒネ クイペ。
私は遊んで、帰宅して、食事をした。
2. E=apkas wa e=ek?
エアッカシワ エエク?
お前は歩いてきたの?
3. Ku=kor tures cis ayne mokor.
クコット°レシチサイネ モコロ。
私の妹は泣いたあげく、眠った。
4. Uras cise as kane an.
ウラッチセ アシカナン。
笹葺きの家が建っている。
5. Ku=mina kor ku=apkas.
クミナコロ クアッカシ。
私は笑いながら歩いた。
6. Paykar an kor upas nin.
パイカヲアンコロ ウパシニン。
春になると雪が消える。
7. Eciki cis no ipe ya.
エチキチシノ イペヤー。
泣かないで食事しなさい。



単語

アイヌ語		品詞	日本語
ápkas	アッカシ	自動詞	歩く
ayne	アイネ	接続助詞	～(し)たあげく
cís	チシ	自動詞	泣く
hine	ヒネ	接続助詞	(単に順番に物事が起こったことを表し) ～(し)て
ipé	イペ	自動詞	食事する
kane	カネ	接続助詞	～(し)ながら
kor	コロ	接続助詞	～(し)ながら
nín	ニン	自動詞	消える
no	ノ	接続助詞	～(しない)で
upás	ウパシ	名詞	雪
urás	ウラシ	名詞	笹
wa	ワ	接続助詞	(前後の文が密接に関係していることを表し) ～(し)て



今日の学習

1. 前の文と後ろの文をつなぐ言葉—接続助詞

Kampinuye 12やKampinuye 13に出てきた korka は、「～けれども」という逆接の意味を表して前の文と後ろの文をつなぐ言葉でした。また、Kampinuye 19に出てきた kusu は、「～なので」「～のために」といった原因・理由・目的の意味を表して、前の文と後ろの文をつなぐ役割を果たしていました。korka や kusu のように、様々な意味を表して、前の文と後ろの文をつなぎ、基本的に動詞の後に用いられる言葉を接続助詞と呼びます。

接続助詞を使ったとしても、その文の中の動詞に必要な人称接辞を必ずつけることが原則ですが、時には例外もあります。以下に接続助詞をまとめます。

hine 「～(し)て」：例文1のように、ある物事を起こった順番に述べる場合に用いられます。石狩方言では省略されることもあります。

wa 「～(し)て」：例文2のように、前後の文が密接に関係していることを表します。

ayne 「～(し)たあげく」：例文3のように、ある出来事が継続・進展し、ayne によって結末が導かれます。

kane、kor 「～(し)ながら」：例文4、5のように、前後の文にある2つの動作が同時に行われていることを表します。

kor 「～(する)と」：例文6のように、前の文の条件で後の文の出来事が起こることを表します。この意味では ko という別な語形を使う方言もありますが、石狩方言では、「～(し)ながら」の kor と同形ですから、間違えないよう注意が必要です。

no 「～(しない)で」：例文7のように、通常 wa 「～(し)て」でつながれる文で、前の文の動詞が否定の意味を表す場合、接続助詞は no が用いられます。



例文

1. A : E=paha nep ka ne wa?
エパハネツカネワー?
 あんたの年は幾つ?
 B : Tu pa ikasma hot ku=ne.
ト°パイカシマホックネ。
 22歳です。
 A : Ayapo, e=pa pon hawe!
アーヤポ、エパーポンハウエー!
 おやまあ、年が若いね!
2. A : Sonno pirka siri!
ソンノピリカシリー!
 とってもきれいだ!
 Taan to teksam ta paye=an na!
タアントーテクサムタパイェアンナー!
 あの湖の畔に行こうよ!
 B : Ku=sinki humi!
クシンキフミー!
 疲れちゃった!
 Te ta simpuy an kusu sini=an rok!
テタシンプイアンスシニアンロク!
 ここに泉があるから休みましょうよ!
 Yammakka pirka hum an na!
ヤンマッカピリカウマナー!
 冷たい水美味しいなー!



単語

アイヌ語		品詞	日本語
ayápo	アヤポ	問投詞	おやまあ
pá	パ	場所名詞	年、年齢
símpuy	シンプイ	名詞	泉、井戸
té	テ	代名詞	ここ
téksam	テクサム	位置名詞	~のすぐそば
wá	ワ	終助詞	~か (注: ya の異形。石狩方言では子音の y と w の交替がよく見られる)
yámmakka	ヤンマッカ	名詞	清水 (> yamwakka)



今日の学習

1. 感嘆文について

何かに感心した時の言い方としては、例えば「とても美しい。」を Sonno pirka! という文に強いイントネーションを加えるだけでも良いのですが、その他に hawe, siri, humi といった形式名詞を文末に用いて感嘆文を作る事ができます。その意味については次の項目で詳しく述べます。

2. 4つの形式名詞について

これまで例文に ru と ruwe という形式名詞が出てきましたが、意味などに詳しく触れませんでした。ここでは新しく出てきた3つを加え、その意味と用法を説明します。

- ① ru および ruwe は
 情報 → 知覚 → ru ruwe

のように情報が頭脳、つまり知覚のフィルターを通された時に用いられます。知覚で分析し、それが事実であるとして発話される時には文末に ruwe ne (あるいは ru ne)、感情がこもった時に ru an、強い断定を表わしては ru un が用いられます。また知覚に入った情報が確かなのか尋ねる時には ruwe や ru an a などの形が用いられます。石狩方言での過去の用例は確認されていませんが、例えば静内などでは感嘆文に ruwe が用いられます。

- ② sir および siri は
 情報 → 視覚 → sir siri

のように情報が目、つまり視覚のフィルターを通された時に用いられます。視覚でとらえた様子を述べる際には sir an 「~の様子である」が文末に用いられます。他方言にある siri ne は石狩方言の過去の用例では確認されていません。また視覚でとらえた情報に対して尋ねる時 sir an a 「~の様子だろうか」が用いられ、またそういった情報に対し感嘆した時には siri が用いられます。

- ③ haw および hawe は
 情報 → 聴覚 → haw hawe

のように情報が耳、つまり聴覚のフィルターを通された時に用いられます。聴覚でとらえられた(言語)情報、つまり「~という話だ」と伝聞の内容を述べる時に hawe ne (あるいは haw ne) や haw an が文末に用いられます。また伝聞に対して尋ねる時 hawe や haw an (あるいは haw an a) が用いられ、またそういったものに対して感嘆した時には hawe が用いられます。haw や hawe は「アウ」、「アウエ」と発音される事が多く注意が必要です。

- ④ hum および humi は
 情報 → 感覚、感情 → hum humi

のように情報が味や手触りや痛みや快感などの肉体的感覚や気分、気持ち、考えといった精神的感情のフィルターを通された時に用いられます。感覚や感情でとらえられた事柄を「~という感じ」、「~という気分だ」という風に述べる時 hum an が文末に用いられます。他方言にある humi ne は石狩方言の過去の用例では確認されていません。尋ねる時の言い方は例が見つからず不明ですが、今後は humi an (あるいは hum an) や hum an a などを用いて表現する事にします。感嘆した時には humi の他 hum an a (発音は常にウマナー) が用いられます。尚この hum や humi も「ウム」、「ウミ」と発音され、更に前者は先行する子音とリエゾンして書かれたものとは違って聞こえるので注意が必要です。

メモ



例文

- A: Tane neyta es=okay ru an a?
タネネイタエソカイルアナー?
 今あんた達はどこにいるんだい?

B: Ku=sapo kor cise otta okay=as wa.
クサポコッチセオッタオカヤシワ。
 姉さんの家にいるよ。

A: Nep es=ki kor es=okay?
ネフエシキコロエソカイ?
 何してるの?

B: Ku=sapo suke wa keraan pe ci=e kane okay.
クサポスケワ ケラアンペチエカネオカイ。
 姉さんが料理して美味しいもの食べてる。

A: Aynupata!
アイヌパター!
 いいなー!

B: E=e rusuy ruwe?
エエルスイルウェ?
 食べたい?

A: Ru un!
ルウン
 うん!
- A: Nispa, neyne paye=an ruwe an?
ニシパ、ネイネパイェアナルウェアン?
 あなた、どこへ行かれるのですか?

B: Ku=peray kusu Maske ekota ku=oman ruwe ne.
クペライクス マシケエコタクオマンルウェネ。
 魚釣りに増毛に行くのです。
 Esokay anak neyne es=paye?
エソカリアナク ネイネエシパイェ?
 あなたはどこへ行かれるのです?

A: Ku=poho orwa ku=cisekohosipi ru ne wa.
クボホオロワ クチセコホシビルネワ。
 息子の所からわが家に帰るところですよ。



単語

アイヌ語	品詞	日本語
=an	アン	人称接辞 あなたが、あなた達が
áynupata	アイヌパタ	間投詞 うらやましいな
cisékohosipi	チセコホシピ	自動詞 家に帰る
es=	エシ	人称接辞 ①君達が、②あなたが、あなた達が
esókay	エソカイ	人称代名詞 ①君達、②あなた、あなた達
esokáy	エソカイ	
kéeraan	ケラアン	自動詞 美味しい
Máske	マシケ	名詞 増毛
nísipa	ニシパ	名詞 旦那、金持
péray	ペライ	自動詞 釣りをする
suké	スケ	自動詞 料理する



今日の学習

1. 人称接辞 es=

Kampinuye12で二人称単数の人称接辞 e=「お前が」を学びました。その複数、つまり「お前達が」が es= です。例文1ではこの意味で使われています。
 それに対して例文2では相手が一人なのに es= が使われています。実は石狩方言では二人称複数の es= が敬称としても用いられるのです。この意味では相手が一人でも二人以上でも es= の形ですから、単数が複数かは文脈で判断するしかありません。先に敬称と述べましたが、かつて一人前の男性同士は同輩でもこの言葉を用いたといえます。またKampinuye27で学んだ一人称複数形包括形と同じ an=、=an も二人称の敬称として es= と併用されます。es= が常に動詞の語頭に付くのに対して、an=、=an は他動詞か自動詞で付く場所が違います。es= が動詞に付いた場合、an= が付いた場合と同じくアクセントは移動しません。つまり es=okáy エソカイ、es=payé エシパイェ ですから注意してください。

2. 接続助詞 kane と kor の用法まとめ

ある動作が継続している事を示す接続助詞 kane や kor は Tampaku ku=ku kor (kane) ku=apkas. 「私は煙草を吸いながら歩く。」のように用いられませんが、「～している」、あるいは「～していた」という表現では、単数なら「kor (kane) +必要な人称接辞+an」、複数なら「kor (kane) +必要な人称接辞+okay」、あるいは「kor (kane) +okay+必要な人称接辞」という形が用いられます。例文1の Nep es=ki kor es=okay? 「あんた達何してるの?」がそれに当たります。ところが同じく例文1に …… keraan pe ci=e kane okay. 「……私達は美味しいものを食べている。」とありますが、okay にはあるべき人称接辞が付いていません。実は石狩方言では kane や kor に先行する文の主語と後続する文の主語が同じで、kane や kor と自動詞の間に如何なる語も入らぬ場合、数は主語に一致させても人称接辞は付けられない現象が起こります。これは助動詞的形式と呼びますが、石狩方言での使用例からするとむしろ先に見た kor の後の自動詞に人称接辞を付ける方が例外に思える程、助動詞的形式の使用が多いです。同じ現象は kane や kor 以外にも wa にも起こります。

3. 形式名詞 ru と ruwe を用いた疑問文

Kampinuye28で形式名詞 ru あるいは ruwe はある事柄を頭脳で認識し、それが確かであるという事を示すと学びました。終助詞 ya を用いて疑問文を作ってきましたが、「～は確かなのか?」というニュアンスを込めて E=e rusuy ruwe? 「あんたはそれを食べたいの?」のように ruwe や ruwe an を用いても疑問文を作る事ができます。ruwe で聞かれた場合、「はい」は ru un、「いいえ」は somo となります。ruwe を使うか ru を使うかは話者の家系によりましたが、表現として固定しているものもあります。
 疑問詞のある疑問文の場合には Nep es=ki kor es=okay? 「あんた達何してるの?」のように ya や ruwe は必要ありませんが、用いる場合には例文2の Nispa, neyne paye=an ruwe an? 「あなた、どこへ行かれるのですか?」のように、必ず ruwe an か ru an の形です。この文はまた Nispa, neyne paye=an ya? と書き換えられます。
 Tane neyta es=okay ru an a?
 の ru an a は固定した表現で、常に「ルアナー」、「ルアナ」とのみ発音されます。

 例文

- A : Tanto onuman uenewsar=as kusu topempe poronno ku=hok wa.
タントオヌマン ウエネウサラックス トーペンペポロンノクホツワ。
 今晚私達集まって楽しむので私、お菓子沢山買ったよ。

B : Ponno ku=e rusuy na.Sinep en=kore ya!
ボンノクエルスイナ。シネッエンコレヤー！
 少し食べたいな。一つちょうだい！

A : Ponno en=tere!
ボンノエンテレ！
 ちょっと待って！
- A : En=ekota inkar wa en=kore yan!
エネコタインカワエンコレヤン！
 こっちを見てください！

B : Nekon ta?
ネーコンダ？
 何ですって？

C : Nep ta es=kor wa es=arki ya?
ネッタエシコロワエサキヤー？
 一体何を持って来たのですか？

Un=nukare wa un=kore yan!
ウンヌカレワウンコレヤン！
 私達に見せてください！

A : Inkar yan! Pekampe poronno ku=uk.
インカラン！ ペカンベポロンノクウク。
 ほら！ヒシの実沢山採ってきた。

 単語

アイヌ語	品詞	日本語
en=	エン	人称接辞 私に、私を
kóre	コレ	他動詞 ~に~を与える
pekámpe	ペカンベ	名詞 ヒシの実
pónno	ボンノ	副詞 少し
ta	タ	副助詞 (名詞や副詞などの後に置かれて直前の語を強調する。「一体」などと訳される事もあるが、適当な訳語が見つからぬ場合もある。)
tére	テレ	他動詞 ~を待つ
tópempe	トペンペ	名詞 甘いもの、(甘い) お菓子

アイヌ語	品詞	日本語
uénewsar	ウエネウサラ	自動詞 話や歌や踊りをして楽しむ
un=	ウン	人称接辞 (話し相手を含めぬ) 私達に、私達を
yá	ヤ	終助詞 (人称接辞 e= で呼ぶ相手に対し命令を和らげ) ~ (して) よ
yán	ヤン	終助詞 (人称接辞 es= で呼ぶ相手に対し命令を和らげ) ~ (して) よ、(~して) ください

 今日の学習

1. 人称接辞の目的格

今まで学んできた人称接辞は「～が」という主格、「～の」という所有格の形でした。今回の例文中の ku=、=as、es= がそれです。それに対し「～に」、「～を」という目的格の場合 en=、un= が使われています。このように人称接辞は主格、所有格と目的格で全く違った形になるものがあります。

単数	主格 (～は、が) 所有格 (～の)	目的格 (～に、を)	複数	主格 (～は、が) 所有格 (～の)	目的格 (～に、を)
一人称 (私)	ku=	en=	一人称除外形 (相手を含めぬ私達)	=as ci=	un=
			一人称包括形 (相手を含む私達)	=an an=	i=
二人称 (お前)	e=	e=	二人称 (お前達、あなた、あなた達)	es=	es=
三人称 (彼、彼女)	なし	なし	三人称 (彼らなど)	なし	なし

表からも分るように形が変わるのは一人称(及びそれと同形の二人称敬称)だけです。しっかり覚えましょう。

尚、例文2に“En=ekota inkar wa en=kore yan!”とありますが、ekota は後置副詞です。このように人称接辞の目的格は他動詞の目的語となる時ばかりではなく、後置副詞と共にも用いられるのです。よく使う表現として「私と一緒に」は en=tura あるいは en=turano となります。

2. 命令文

誰かに「～しなさい」と行動を促す命令文の基本形は

- Ek! 「来い！」
- En=kore! 「私にくれ！」

のように人称接辞の主格が付かない形の動詞を用います。またこれは

- Ek! 「(一人に対して) 来い！」
- Arki! 「(二人以上に対して) 来い！」

のように、動詞によっては命令する人数によって単数形と複数形を使い分けます。しかしこれらの形はぞんざいすぎて、人に対しては減多に使うものではありません。実際には例文に見られるように命令文の終りに終助詞 ya あるいは yan を用いた表現が普通です。これらは

- 人称接辞 e= で呼びかけるような相手に対しては「動詞の単数形+ya」
- 人称接辞 es= で呼びかけるような相手に対しては「動詞の複数形+yan」

と使い分けられます。この ya や yan 自体は意味的に「～(して)よ」くらいの軽いものですが、文体や文脈などに応じて「～(して)ください」と和訳される事もあります。

さて、例文1の Sinep en=kore ya! は「お菓子を一つ私にください」と言っているのですが、例文2の Un=nukare wa un=kore yan! では何か物をくれと言っている訳ではありません。日本語にも「～してください」と同じ表現があるため理解し易いと思いますが、

- 「私」に対しては 「命令文の基本形+en=kore」
- 「私達」に対しては 「命令文の基本形+un=kore」

に、必要に応じて既に説明した ya あるいは yan を文末に用い、相手に促す行動が誰のためになされるのかをはっきりさせます。

してはいけない — 禁止の表現

例文

- A : Eciki en=kohanke!
エチキエンコハンケ!
 私に近寄らないで!

B : Eciki en=kopan wa en=kore ya!
エチキエンコバンワエンコレヤ!
 私を嫌わないでくれ!

A : Ayay! Ecikki!
アヤヤイ! エチッキー!
 きゃー! いやー!

B : Ku=ki katu wen na.
クキカト°ウェンナ。
 ごめんなさい。

A : Paw, e=yayunaske ciki hempano toan ene oman!
パウ、エヤユナシケチキ ヘンパノトアーネネオマン!
 もう、謝るんならさっさとあっち行って!
- A : Ponno siran kor uturano asip=an kusu en=tere ani!
ボンノシランコロ ウト°ラノアシバンクスエンテレアニー!
 もう少ししたら皆で出かけるから待ってるんだよ!

B : Ku=nukar rusuy pe an kusu es=tura ku=oman etoranne.
クヌカナルスイペアバンクス エット°ラクオマンエトランナー。
 見たいもの(番組)あるから一緒に行きたくない。

A : E=kor totto ku=ne wa eani anak ku=kor ekatci e=ne kusu
 eciki en=hayta no en=tura ani!
**エコットトクネワ エアニアナックコレカッチエネクス
 エチキエンハイタノエント° ラアニ!**
 お前の母が私であって、お前は私の子供なんだから、
 私に逆らわずに一緒に行くんだよ!

単語

アイヌ語	品詞	日本語
ani	アニ	終助詞 (自分と同格、あるいは目下の相手に親しみを込めて)~(し)なさい
asip	アシッ	自動詞 出る、外出する(複数形) 単数形は asin アシン
áyay	アヤイ	間投詞 きゃー
ciki	チキ	接続助詞 ~ (する) なら
eciki	エチキ	副詞 ~ (する) な
ecikki	エチッキー	副詞 決して~ (する) な
ekátci	エカッチ	名詞 男の子、子供

アイヌ語	品詞	日本語
háyta	ハイタ	他動詞 ~をないがしろにする
hémpano	ヘンパノ	副詞 早く
kát	カッ	名詞 格好 所属形は katú カト°
kohánke	コハンケ	他動詞 ~に近づく
kor	コロ	接続助詞 ~ (する) と
sírán	シラン	O項動詞 (時間が) 経つ
yayúnaske	ヤユナシケ	自動詞 謝罪する

今日の学習

1. 禁止の表現について

「~するな」、「~しないで下さい」という禁止の表現には、例文のように副詞 eciki を用います。これも否定の副詞 somo と同じく絶対に動詞の前に用いられ(注1)、通常「eciki + 命令文」の形をとります。また単独で「Eciki!」「だめ!」といった用い方ができます。例文には ecikki の形も出てきますが、これは eciki をより強めた言い方で、「決して~(する)な」と訳す場合もあります。

例文に …… eciki en=hayta no en=tura ani! という表現がありますが、通常 wa で結ばれる文で先行する文の動詞が否定の意味を持っている場合(注2)、接続助詞は no が用いられるという決まりがあります。ただし no の使用は絶対という訳ではなく wa が用いられている例もあります。

(注1) somoの場合は「Cep somo ku=e.」「私は魚を食べない。」のようにsomoと動詞の間に入るのは人称接辞だけで、目的語や補語などの位置はsomoの前になります。実際には接辞として動詞と一体化しているため単語が挿入されているのではないので、正確にはsomoと動詞の間には基本的に如何なる品詞も用いないと言った方が良いでしょう。「Somo cep ku=e.」のように文頭にsomoが用いられる事がありますが、これは「私が魚を食べる事はない」のような文全体の否定を表わしている時です。それに対してecikiは動詞の前であれば「Eciki cep e!」でも「Cep eciki e!」でもよく、「魚を食うな!」の意味は変わりません。

(注2) 多くはsomo+動詞の形で否定形を作りますが、これまでできてきたan「ある」に対するisam「ない」のように、アイヌ語にはsomoを用いず否定の意味を表わす動詞が幾つか存在します。こういった動詞の後にも、やはり no が用いられるのです。

2. 命令文と接続助詞 ciki

「~(する)なら~」という仮定を表す接続助詞は yakun ですが、例文1の ……e=yayunaske ciki hempano toan ene oman!「お前が謝るんならさっさとあっち行って!」のように命令文を導く場合には cikiが用いられます。

3. 人称代名詞のまとめ

これまで「私は」、「私の」、「私を」などの人称を表わす言葉を学んできました。アイヌ語でこれらは接辞と呼ばれる形で動詞の語頭、あるいは語尾にびたりと付きました。それに対し日本語の人称は「私」という代名詞が様々な助詞を伴って用いられますし、「私」という単独でも用いられます。アイヌ語にも人称代名詞は存在しますが、強調に用いたり、kampinuye12で学んだように ka「~も」、anakne「~というものは」などという副助詞や一部の後置副詞と共に用いたりするだけです。但し人称代名詞を用いても動詞の人称接辞は絶対省きません。

	単数	複数
一人称	私 kuáni	私達(除外形) ciókay 私達(包括形) anókay
二人称	お前 eáni あなた(敬称) esókay (esokáy) anókay	お前達、(敬称)あなた達 esókay (esokáy) (敬称)あなた達 anókay
三人称(彼、彼女)	なし	なし

尚、三人称については指示代名詞 néakur「その人」、néa menoko「その女」、nérok utar「その人々」などを「彼」、「彼女」、「彼ら」といった人称代名詞的に用いる事も可能です。もしかしたら後世のアイヌ語では人称代名詞になっているかも知れません。



今日の学習

(1) 文法的な場所の概念の復習

Kampinuye 2 4 で既に学びましたが、重要な事ですので復習してみましょう。cise などの普通名詞（これまでテキスト中では単に「名詞」と表記）の後に ta「～で」、wa「～から」といった後置詞を用いる場合、

cise otta (> orta) 「家で」 cise orwa 「家から」

のように必ず or という言葉と共に用いねばならないのに対し、「文法的な場所の概念」を持つある種の名詞はそれを用いなくても良いという決まりがあります。このある種の名詞とは

- ① 場所名詞
- ② 場所の名詞
- ③ 位置名詞

と呼ばれるものです。例えば場所名詞の kotan「村」は kotan orwa の他、kotan wa が可能です。

次に先の三つの名詞について学んでいきましょう。

(2) 場所名詞について

場所名詞の特徴を挙げると

- ① 後置詞と用いる場合 or を用いなくても良い。

(例) kotan wa 「村から」

- ② 普通名詞と同様に所属形があり、人称を表す接辞も主格と同形である。

(例) ku=kotanu 「私の村」

となります。これは後に述べる位置名詞との違いを考える上でとても重要です。しっかり覚えて下さい。場所名詞としてよく使われるものには次のようなものがあります。

アイヌ語	日本語
ánnoski	アンノシキ 真夜中
kím	キム (生活圏としての) 山
mosír	モシリ 島、大地、国
pá	バ 年
rép	レブ 沖
só	ソ 座席
tó	ト 日
tónoski	トノシキ 真昼

特に annoski などのように普通名詞や場所名詞と後に説明する位置名詞によって作られた合成語は多くの場合に場所名詞になります。

(3) 場所の名詞について

場所の名詞とはある条件下で場所の概念を持つ普通名詞と固有名詞、一部の代名詞と一部の名詞句などを指す便宜上の呼称で、品詞分類上の名称ではありません。この内訳は以下の通りです。

- ① 普通名詞の所属形

(例) 概念形の cise を用いて「家で」という場合 cise otta としか言えないのに対し所属形の ku=cise を用いて「私の家で」という場合 ku=cise otta も ku=cise ta も可能

- ② 固有名詞の中で誰もが分かるような地名

(例) Sapporo ene 「札幌へ」

- ③ 一部の代名詞

(例) te 「ここ」 taan 「そこ」 toan 「あそこ」 など

- ④ 形式名詞 hi 「時」、「所」によって形成される名詞句

(例) ku=pon hi ta 「私が小さい時に」

(4) 位置名詞について

上下前後など位置や方向といった空間的關係、あるいは時間的關係を表す場所の概念を持つ名詞の一種に位置名詞があります。(1) で触れた or やこれまで学んだ oske、teksam がこれに当たります。名詞とはいうものの、先に説明した普通名詞や場所名詞とは大きな違いがあります。次に sam 「～の側」という語を用いて説明します。

(例)

① 「私の村に」 ku=kotanu ta

② 「私の側に」 en=sam ta あるいは en=sama ta あるいは en=samake ta

上の例の訳文は共に「私の」となっています。共に人称接辞が用いられていますが、①では主格と同形の所有格が用いられているのに対し、②では「私に、私を」といった意味の目的格が用いられています。このように位置名詞は概念形、所属形の区別を持たず、あたかも他動詞のように目的格をとるのです。ところで②には sám、samá、samáke の三つの形があります。古くは sam を概念形、sama や samake を所属形としていましたが、(例)の対比からもこの誤りは明らかで、今では sam を「短形」、sama や samake を「長形」と呼ぶのが一般的です。この短形と長形は用法に違いがあります。例えば「泉の側に石がある。」という文を考えて見ましょう。この場合

Simpuy sam ta suma an.

といった短形の他に

Simpuy sama ta suma an.

Simpuy samake ta suma an.

と長形の使用も可能です。しかし、「泉の側に石がある。その側に一本の木の木が生えている。」の場合、

Simpuy sam (sama、samake) ta suma an.

の後には

Sama ta sine kene as kane an.

Samake ta sine kene as kane an.

と長形のみが可能。つまり短形は単独で用いる事ができず、長形は単独で用いる事ができるのです。

(5) 位置名詞のいろいろ

位置名詞が表す位置関係は日本語とは異なる細かい区別があり、とても複雑です。以下主なものを解説します。

- ① 「上」と「下」

短形 ká 長形 kasí、kasíke 「～の接触した上」

短形 énká 長形 énkasi、éncasike 「～の離れた上」

短形 kúrka 長形 kúrkasi、kúrcasike 「～の広範囲の上、～の上一面」

短形 túyka 長形 túykasi、túycasike 「～のすぐ上」

(この tuy は「腸、内臓」という意味ですが、こういった身体部位名と位置名詞が結びついて派生した位置名詞がありますが、tap「肩」を含む tapka 「～の頂上」もそうですが、どうしてその意味になるのか日本語の思考では不可解なものも少なくありません。)

短形 córpok 長形 córpoki、córcpokike 「～の下」

短形 túypok 長形 túypoki 「～の下側、～の裏」

(ちなみに数物や紙などの「表」は sirka、「裏」は sirpok と言い場所名詞です。)

- ② 「前」と「後」

短形 kótca 長形 kótcake 「(動いていない) ～の前」

短形 etók 長形 etóko 「(動いている) ～の前」

短形 ósmak 長形 ósmake 「(動いていない) ～の後」

短形 oká 長形 okáke 「(動いている) ～の後」

(例えば en=kotca と en=etok は共に「私の前」ではあるけれど、en=kotca の時の私は動いておらず en=etok の私は動いている事になります。)



例文

- Ku = suke easkay.
クスケエアシカイ。
 私は料理ができる。

- Ku = suke eaykap.
クスケエアイカフ。
 私は料理ができない。

- Kesonuman e = kor seta wose kusu
 sonno ku = mokor ka eaykap.
ケソヌマン エコッセタウオセクス ソンノクモコロカエアイカフ。
 毎晩、お前の犬が遠吠えするので、本当に私は眠ることもできない。

- A : Sapo, anutari iposse ani e = itak easkay ?
サポ、アヌタリイポッセアニ エイタクエアシカイ？
 姉さん、アイヌ語で話すことができるの？

B : Ponno ku = eraman korka
ポンノクエラマンコロカ
 少し知っているけれど、
 pirkano ku = itak eaykap wa.
ピリカノクイタクエアイカフワ。
 上手に話せないよ。



単語

アイヌ語	品詞	日本語
anútari ipósse	アヌタリイポッセ	名詞 アイヌ語 ※直訳すると、 anutari 同族 iposse 言い方
ani	アニ	後置副詞 ～で、～でもって (手段を示す)
eáskay	エアシカイ	1. 助動詞 2. 他動詞 1. ～できる 2. ～をすることができる
eáykap	エアイカフ	1. 助動詞 2. 他動詞 1. ～できない 2. ～をすることができない
kesónuman	ケソヌマン	名詞、副詞 毎晩
koyáykus	コヤイクシ	助動詞 1. (したくても) ～できない 2. (したくても) ～できない

アイヌ語	品詞	日本語
niwkes	ニウケン	助動詞 1. (状況や都合により) ～できない 2. (状況や都合により) ～できない、～したくない
nukúri	ヌクリ	助動詞 1. (年齢、体調、あるいは面倒で) ～できない 2. (年齢、体調、あるいは面倒で) ～できない
pirkano	ピリカノ	副詞 良く、上手に
setá	セタ	名詞 イヌ
wóse	ウオセ	自動詞 遠吠えする



今日の学習

1. 「～できる」可能を表す助動詞

kampinuye 26 では、rusuy 「～したい」という欲求を表す助動詞、somo+本動詞+rusuy (あるいは、本動詞+rusuy somo ki) 「～したくない」という拒否を表す助動詞などを学びました。今回出てきた easkay は「～できる」という可能を表す助動詞です。

先に学んだように、助動詞は必要な人称接辞をつけた動詞の後に人称接辞なしで用いられます。ところが、「Kampi ka ku=easkay. 私は勉強もよくできる。」というように、easkay に人称接辞がつく場合もあります。これはどういうことでしょうか。実は、この easkay は形こそ同じですが、他動詞の easkay です。助動詞の中には、このように同じ形の他動詞を持つものもあるので、注意が必要です。

2. 「～できない」不可能を表す助動詞

「～できない」という不可能を表す場合は、例文2のように eaykap という助動詞を用います。somo 「～ない」を使って表現したくなるのですが、そうはなりません。ところで、「～できる」という可能を表す助動詞は easkay だけですが、「～できない」という不可能を表す助動詞は他にもあります。不可能を表す助動詞を以下にまとめます。

- eayka : (能力的に) ～できない。※この言葉が、不可能を表して最も多く用いられる。
- koyaykus : (したくても) ～できない、(どうしても) ～できない
- niwkes : (状況や都合により) ～できない
- nukur : (年齢、体調、あるいは面倒で) ～できない

漠然と不可能を表すときには eaykap が用いられ、より細かい意味を述べるときに、koyaykus、niwkes、nukuriといった言葉が用いられているようです。なお、ここに挙げた4つは他動詞としても用いられます。

3. 副助詞 ka

kampinuye 6 で学んだように、副助詞とは助詞の一種です。例文3のように、本動詞と助動詞の間に、副助詞 ka 「～も」を用いると、ku=mokor ka eaykap. 「私は眠ることもできない。」といった表現になります。本動詞と助動詞の間に置けるのは、ka のようなごく一部の副助詞だけです。

メモ



例文

- Somo ku = mokor no
ソモクモコンノ
 私は眠らないで
 ku = kampinuye kusu ne na.
クカンピヌイエクスネナ。
 勉強するつもりだよ。

- A : Tane neyta e = kor acapo an ruwe?
タネ ネイタ エコラアチャポ アンルウェ?
 お前の叔父さんは、今どこにいるの?
 B : Maciya ekota oman wa otta
マチヤエコタ オマヌワ オッタ
 街に行つて、そこで
 ipe nankor.
イベナンコロ。
 食事をするだろう。

- A : Nisatta kim ta paye = an ruwe?
ニサッタ キムタ パイエアン ルウェ?
 明日、山に行くの?
 Kesto an kor sirwen kusu kim ta
ケットアンコロ シリウエンクス キムタ
 毎日天気が悪くて山に
 paye = an ka somo ki no anep isam na.
パイエアンカソモキノ アネアイサムナ。
 行けもしなくて、食べるものもないよ。
 B : E. Nisatta anakne sirpirka nankor na.
エー。ニサッタアナクネ シリピリカ ナンコンナ。
 うん。明日こそは晴れるだろうさ。

- Tampe patek e = e nankor.
タンベパテク エエナンコロ。
 お前はこれだけ食べていなさい。



単語

アイヌ語	品詞	日本語
kámpinuye	カンピヌイエ	自動詞 勉強する
kusu né	クスネ	助動詞 ~ (する) つもり
náankor	ナンコロ	助動詞 1. (推測して) ~ だろう 2. (一種の命令表現として) ~ だろう
néa	ネア	連体詞 (既に述べられたものを指し) その
paték	パテク	後置副詞 ~ばかり、~だけ



今日の学習

1. 「~するつもり」意志を表す助動詞

例文1のように、「~ (する) つもり」という話し手の意志を表現するときには、kusu ne を用います。

2. 「~だろう」推測を表す助動詞

例文2や3のように、不確実な事柄に対して「~だろう」という話し手の推測を表現するときには、nankor を用います。特に、例文3は未来に対する推測です。未来に起こることは誰であっても正確に知ることはできないでしょうから、nankor を使う事もあるでしょう。ただし nankor は推測を表す助動詞で、「~ (している) だろう」、「~ (した) だろう」と現在や過去に関しても用います。

3. nankor を使った命令の表現

例文4に、tampe patek e = e nankor. 「お前はこれだけ食べていなさい。」という表現があります。この文を直訳すると、「お前はこれだけを食べるだろう」という意味ですが、これは予測の形をとった一種の命令の表現です。ただし、nankor を用いた命令の表現は、命令文ではないので、主格の人称接辞を付け忘れてしまわないよう、注意が必要です。

4. kusu ne、nankorと終助詞na

kusu ne や nankor は、よく終助詞 na 「~よ、~ぞ」と共に用いられます。しかし、接続助詞の直前で na を用いることはできません。なお、例文3の「nankor na」ですが、一語ずつゆっくり発音すれば「ナンコロ ナ」ですが、通常の速さの発音では「ナンコンナ」となります。

メモ

採る — 植物採集の表現



例文

- A: Tampe nepe a?
タンペ ネペアー?
 これは何?
- B: Sikerpe ne.
シケレペネ。
 シコロの実だよ。
 Sikerpe poronno an kusu
シケレペ ポロンノアックス
 (地面の上に) シコロの実がたくさんあるので、
 an=uk wa an=e rok!
アヌクワアネロク!
 拾って食べようよ!
- A: Ayapo! Tampe an=e ruwe?
アヤポ! タンペ アネルウエ?
 ええっ! これ食べるの?
- B: Ru un. Sikerpe anakne keraan wa.
ルウン。シケレペアナクネ ケラアヌワ
 はい。シコロの実はおいしいよ。



単語

アイヌ語	品詞	日本語
sikérpe	シケレペ	名詞 シコロの果実
úk	ウク	他動詞 ~を拾い集める ※複数形は úyna ウイナ



今日の学習

採る — 植物採集の表現

シコロの実を採る、コウホネを採る、オオウバユリを採る、ヒシの実を採る…日本語ではどれも同じ「採る」ですが、アイヌ語では、「採る」という行為に関して、言葉を使い分けています。植物を「採る」という行為に関する言葉について、以下にまとめます。

アイヌ語	品詞	日本語
cá	チャ	他動詞 ~を刈る、~切りとる
háypa	ハイパ	他動詞 ~をまさぐって採る
kár	カラ	他動詞 ~をもぎとる、~(草など)をむしる
péka	ペカ	他動詞 ~ (水に浮いているもの)を採る
tá	タ	他動詞 ~を掘って採る
tá	タ	他動詞 ~を摘んで集める
úk	ウク	他動詞 ~を拾い集める ※複数形は úyna ウイナ
yánke	ヤンケ	他動詞 ~を(水中から揚げて)採る ※複数形は yápte ヤプテ

- ca : ガマやなどの茎を刈りとるときに使われます。砂沢クラ姪は、「…amam ci=ca, ci=atte, ci=satke. 私たちは米を刈り、掛けて、干しました。」というように使っています。
- haypa : 水の下に沈んでいる貝やコウホネをまさぐって採ることをいいます。
- kar : シコロの実、クルミ、ヤマブドウ、野イチゴ、コクワなどをもぎとったり、ヨモギなどをむしりとして採るときに使われます。樹皮など皮を剥ぐ・むくときにも使われます。
- ta : オオウバユリ、ヤチブキの根など土の中から食糧となる草の根などを掘って採るときに使われます。「イモを掘る」ことも ta を使いそうなものですが、ouri (~を掘る) という言葉が使われる例があります。
- ta : 地面から生活に必要なものを採る、木などを切って採るときに使われます。
 ※「切る」行為自体を表すには、tuye (~を切る) という言葉が使われます。
- uk : ヒシの実、ドングリのように地面に落ちている木の実などを拾って採るときに使われます。ただし、ヒシの実など水に浮いているものを採るときに、peka (~を採る) が使われるという例もあります。
- yanke : コウホネなど食糧となるものを水中から揚げて採るときに使われます。ヒシの実も水中から揚げてとるのですが、先にも述べたとおり、uk を使います。

なお、今までに出てきた語もありますが、今回出てきた植物名等も以下にまとめます。

アイヌ語	品詞	日本語
hát	ハツ	名詞 ヤマブドウの果実
kapáto	カバト	名詞 コウホネの根茎
kútcí	クッチ	名詞 コクワの果実
nínúm	ニヌム	名詞 オニグルミの果実
niséw	ニセウ	名詞 ドングリ
noyá	ノヤ	名詞 ヨモギの葉
pekámpe	ペカンペ	名詞 ヒシの果実
púy	プイ	名詞 ヤチブキの根 ※葉・茎は púyra プイラ
sikérpe	シケレペ	名詞 シコロの果実
síkina	シキナ	名詞 ガマの茎葉
turép	トレブ	名詞 オオウバユリの鱗茎

ラタスケプ rataskepの作り方

今回は、rataskep という野菜などの混ぜ煮料理を作ってみます。今回ご紹介するのは、私の家で作られている rataskep の作り方です。

1. suke kusu an pe スケクスアンペ 材料

シコロの実 (sikerpe)、カボチャ、サツマイモ、豆 (とら豆や金時豆)、ほしいも、甘納豆
 ※シコロの実にヘタなどがついていたら、取り除きます。シコロの実、豆を一晩中水に浸してゴミなどを取り除きます。その後、豆は煮て、煮汁を2回くらいとりかえます。シコロの実は苦い独特の風味がします。苦手という方は、少量にしてみると良いでしょう。

2. nekon an=kar ネコンアンカラ 作り方

① Wakka o su oske sikerpe an=omare wa an=okaoatte.

ワッカオスオシケ シケレペ アノマレワアノカオアツテ。

水が入った鍋にシコロの実を入れて、鍋を火にかける。

※これからの作業は、すべて煮ながら行います。

② ほしいも サツマイモ カボチャ an=tuypa wa su oske an=omare.

ほしいも サツマイモ カボチャ アント°イパワ スオシケアノマレ。

ほしいも、サツマイモ、カボチャを切って、鍋に入れる。)

※切る大きさはだいたい一口サイズにしましょう。

③ 豆 ka 甘納豆 ka su oske an=omare.

豆 カ 甘納豆 カ スオシケアノマレ。

豆も甘納豆も鍋に入れる。

※甘さの加減は、甘納豆で行うと楽です。

④ ほしいも サツマイモ カボチャ 豆 hapur pakno an=suwe.

ほしいも、サツマイモ、カボチャ、豆 ハプルパクノ アイスウェ。

ほしいも、サツマイモ、カボチャ、豆が柔らかくなるまで煮る。

※水が足りないようでしたら、具材がうっすら水に浸るぐらい水を足します。火加減は、最初は強火で、沸騰してきたら中火にします。たまに底をかき混ぜて、焦げつかないようにしましょう。

⑤ ほしいも サツマイモ カボチャ 豆 hapur yakun

ほしいも サツマイモ カボチャ 豆 ハプルヤクン

ほしいも、サツマイモ、カボチャ、豆が柔らかくなったら

ape an=uska wa an=suwe p an=yamka.

アペ アヌシカワ アイスウェプアイヤムカ。

火を消して、煮たものを冷ます。

これで rataskep の出来上がりです。それでは、ipe=an rok! 食べましょう!



単語

アイヌ語		品詞	日本語
hapúr	ハプル	自動詞	柔らかい
okáoatte	オカオアツテ	他動詞	(鍋)を火にかける
omáre	オマレ	他動詞	～を～に入れる
sú	ス	名詞	鍋
suwé	スウェ	他動詞	～を煮る
tuyé	ト°イエ	他動詞	～を切る ※複数形は túypa ト°イパ
úska	ウシカ	他動詞	(火、灯火)を消す
yámka	ヤムカ	他動詞	～を冷やす



今日の学習

1. 一般人称

今まで学習してきたとおり、アイヌ語では、動詞に必要な人称接辞をつけるということを学びました。ki「～をする」で例を挙げると、ku=ki「私が～する」、e=ki「お前が～する」、ci=ki「(話し手を含めない)私達が～する」、an=ki「(話し手を含める)私達が～する」、es=ki「お前たちが～する/あなたが～する」という表現になります。ki だけならば、「彼(ら)、彼女(ら)、それ(ら)が～する」という表現です。

ところが、実際に言葉を使う場合、特定の誰ということを書かない(言えない)場合もあります。そういう場合、アイヌ語では、=an、an= という人称接辞を使います。

自動詞の場合は 自動詞 =anとなり、他動詞の場合はan= 他動詞 となります。

今回の例文のようなレシピや、マニュアルなどを作るときに便利な表現です。

メモ

今回は、私の出身地である旭川市での現地収録放送です。

私の母から、自分の体験談や、現在行っている活動などについて語ってもらおうと思います。どのような内容になるかは、お楽しみ。



単語

アイヌ語		品詞	日本語
ucáskuma	ウチャシクマ	1. 自動詞 2. 名詞	1. (物事の由来・起源について) 物語る 2. 物事の由来・起源についての物語



今日の学習

旭川市は石狩川の上流、上川盆地の中心部に位置しています。札幌市から北東に向かいおよそ120～130kmほどの距離に位置しています。人口は、34万5,860人（2015年8月1日現在）で、北海道では札幌について2番目に多い人口です。市域面積はおよそ747平方キロメートルです。

「川のまち」といわれるほど川との関わりが深く、大小100以上の川が流れ、700以上の橋がかかっています。現在は、旭山動物園、ラーメン、家具などでも有名です。

アイヌについての知識を得られる施設や展示など

- ・川村カ子トアイヌ記念館（旭川市北門町1 1丁目 TEL：0166-51-2461）
- ・旭川市博物館（旭川市神楽3条7丁目旭川市大雪クリスタルホール内 TEL：0166-69-2004）
- ・アイヌ文化の森 伝承のコタン（鷹栖町字近文9線西4号 TEL：0166-55-9779）
- ・旭川市立北門中学校知里幸恵文学碑、郷土資料館
（旭川市錦町1 5丁目北門中学校校庭内 TEL：0166-51-1431）
※見学を希望される方は、事前の連絡をお願いします。
- ・旭川市民生活館（旭川市緑町1 5丁目 TEL：0166-52-8866）
- ・アイヌ文化情報コーナー ル・シロシ（JR旭川駅構内）
- ・旭川市アイヌ語地名表示板（2013年度までに31か所設置されている）

参照 旭川市公式ホームページ（<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/index.htm>）

メモ

アイヌ語ラジオ講座収録テープ及びミニディスク(MD)の貸出しについて

1. 利用時間

(公財)アイヌ文化振興・研究推進機構:午前9時～午後5時(月～金)
アイヌ文化交流センター:午前10時～午後6時

2. 休業日

(公財)アイヌ文化振興・研究推進機構:土・日曜日、祝日、年末・年始(12月29日～1月3日)
アイヌ文化交流センター:月・日曜日、祝日の翌日、年末・年始(12月29日～1月3日)

3. 申込手続から受取

裏面の申込用紙を当公益財団またはアイヌ文化交流センター事務局に提出いただき、手続きが完了しましたら、収録テープ等をお送りします。

また、送料は利用者負担としておりますので、送料分の切手を同封いただくか、または料金着払いにてお送りします。なお、切手を同封される場合には料金を下記までお問い合わせください。

4. 期 間

申込みの日から14日以内に返却してください。

5. お問合せ先

(公財)アイヌ文化振興・研究推進機構
〒060-0001
北海道札幌市中央区北1条西7丁目
プレスト1・7(5階)
TEL.(011)271-4171 FAX.(011)271-4181
e-mail: ainu@frpac.or.jp

アイヌ文化交流センター
〒104-0028
東京都中央区八重洲2丁目4号13番
ユニソ八重洲2丁目ビル(3階)
TEL.(03)3245-9831 FAX.(03)3510-2155
e-mail: acc-tokyo@frpac.or.jp

アイヌ語ラジオ講座収録テープ・ミニディスク(MD)の貸出申込用紙

*申込番号					申込日	平成	年	月	日					
*返却期日	平成	年	月	日	*返却日	平成	年	月	日					
住所	〒				氏名									
年齢	才	性別	男・女	職業										
連絡先	電話:		FAX:											
	電子メール:													
希望教室	平成10年度	札幌	千歳	平取	旭川	種類	・カセットテープ ・ミニディスク(MD) ・コンパクトディスク(CD) ○で囲んでください。							
	平成11年度	白老	釧路	登別	静内									
	平成12年度	白糠	浦河	鶴川	帯広									
	平成13年度	白老①	白老②	登別①	登別②									
	平成14年度	白糠①	白糠②	鶴川①	鶴川②									
	平成15年度	平取①	平取②	平取③	平取④									
	平成16年度	旭川①	旭川②	旭川③	旭川④									
	平成17年度	静内①	静内②	静内③	静内④									
	平成18年度	様似①	様似②	様似③	様似④									
	平成19年度	平取①	平取②	平取③	平取④									
	平成20年度	旭川①	旭川②	旭川③	旭川④									
	平成21年度	静内①	静内②	静内③	静内④									
	平成22年度	白老①	白老②	白老③	白老④									
	平成23年度	旭川①	旭川②	旭川③	旭川④									
	平成24年度	鶴川①	鶴川②	鶴川③	鶴川④									
	平成25年度	浦河①	浦河②	浦河③	浦河④									
	平成26年度	平取①	平取②	平取③	平取④									
	平成27年度	石狩①	石狩②	石狩③										
	希望教室を○で囲んでください。													
	特記事項													

注1 *印の箇所は記入しないでください。 注2 団体による申込みの場合には、代表者の氏名、住所等を記入してください。

リスナーのみなさまへ

「アイヌ語ラジオ講座」をお聴きいただきありがとうございます。

この講座は、初心者向けのアイヌ語やアイヌ文化講座として放送しています。この講座の必要性やあり方などを検討するにあたり、みなさまのご意見、ご感想などをお聞きするものです。下記の質問について、該当の番号を○で囲み、その他のご意見などをご記入の上、お送りください。

のりしろ

※キリトリ線を切り取って、封筒にしてご郵送ください。
※封筒を作る際はのりしろをセロハンテープ等でしっかりと貼り合わせてください。

アイヌ語ラジオ講座アンケート (年齢 才 男・女)

I この講座についてお尋ねします。

問1 この講座をなにで知りましたか。
①ラジオ ②新聞 ③ホームページ ④ポスター・チラシ ⑤アイヌ語教室 ⑥その他()

問2 この講座を何回くらい聴いていますか。
①月に1回 ②月に2～3回 ③毎週 ④その他()

問3 この講座をいつ・どのような方法で聴いていますか。
①日曜日の本放送 ②土曜日の再放送 ③放送を録音して ④ホームページ ⑤貸出しテープ・MD

問4 この講座の放送時間(15分間)について、どう思われますか。
①もっと短く(分位) ②このままで良い ③もっと長く(分位)

問5 この講座の内容について、どう思われますか。
ア)「アイヌ語の例文紹介」について
①わかりやすい ②普通 ③わかりにくい()
イ)「アイヌ語の解説」について
①わかりやすい ②普通 ③わかりにくい()
ウ)「アイヌ文化の紹介」について
①わかりやすい ②普通 ③わかりにくい()

問6 テキストの内容について、どう思われますか。
①もっと易しく ②このままで良い ③もっと詳しく()

II これからの講座のあり方についてお尋ねします。

問7 この講座をラジオで放送することについて、どう思われますか。
①続けてほしい ②どちらとも言えない ③やめても良い

問8 現在の内容のほか、どのような話を聞きたいですか。
①アイヌ語を学びきっかけなどの体験談 ②アイヌ文化に関わる体験談 ③地域のアイヌ語・文化に関わる活動の紹介
④その他()

問9 「アイヌ文化の紹介」で取りあげてほしいテーマはありますか。
①ある a地名 b歴史 c歌・踊り d口承文芸 e儀礼 f工芸 gその他() ②ない

III その他のご意見があればお聞かせください。

のりしろ

※キリトリ線を切り取って、封筒にしてお送りください。
※封筒を作る際はのりしろをセロハンテープ等でしっかりと貼り合わせ
てください。

(キリトリ)

(キリトリ)

料金受取人払郵便

札幌中央局
承認
340

差出有効期限
平成28年3月
31日まで
●切手不要

0608788

札幌市中央区北一条西七丁目プレスト1・7 5階

公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

アイヌ語ラジオ講座担当者 行



(キリトリ)

キ
リ
ト
リ
線



会員募集のお知らせ

『賛助会員』を募集しています。

国及び北海道からの財政的な支援をいただいておりますが、法律の趣旨を踏まえ多様な事業を展開していくために運営基盤の確立が重要であります。

このため、地元北海道はもとより、全国の個人、団体や企業の方々から、幅広くご支援をいただくことが大切であると考えております。

つきましては、このような趣旨をご理解の上、賛助会員としてご入会くださいますようお願い申し上げます。

年会費

- 法人・団体／一口2万円
 - 個人／一口5千円
- ※各一口以上です。

賛助会費の用途

皆様からの会費は、アイヌ文化に関する書籍、写真、ビデオ等のライブラリーの整備など当公益財団の自主事業の充実のためにあてられます。

会員の特典

- 会員の皆様には、次のような特典があります。
- ・当公益財団が発行する刊行物等の無料配布

●寄付金税額控除について

当公益財団は、平成25年12月に国から「税額控除に係る証明書」の交付を受けておりますので、所得税を納付している場合、確定申告に必要書類を添付することで、所得税や住民税から一定額が控除されます。

平成27年度「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.3

発行年月 平成27年10月
編集・発行 公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構